

(次世代型ポリマー改質アスファルトⅡ型)

レジフィックス-NEO

昭和瀝青工業株式会社

レジフィックス-NEOは、ポリマー改質アスファルトⅡ型に求められる高耐流動性に加え、温度低下時での高い締固め性能、優れた耐水性能を持ち合わせた、プレミックスタイプの次世代型ポリマー改質アスファルトⅡ型です。

アスファルト混合物の施工温度を30℃程度低減できる機能を有するため、施工温度域が広く、施工性の改善が必要な舗装工事に適用できます。また、混合・施工温度を30℃程度低下させて行った場合においても高い締固め性能を有するため、アスファルト混合物製造時の燃料消費量を抑制し、二酸化炭素(CO₂)の排出量が削減でき、地球環境保全に貢献します。

また弊社従来のポリマー改質アスファルトⅡ型(以下、従来の改質Ⅱ型)と比較して、優れた耐水性能を有しているため、骨材飛散やポットホール防止効果が期待されます。

特徴

1. 温度低下時での高い締固め性能があるので、施工性の改善ができます(図-1参照)。
2. アスファルト混合物の製造温度を従来の改質Ⅱ型より30℃程度低減できます。
3. プレミックスタイプのため、プラントミックスタイプの添加材と比べて投入手間が省けます。
4. 従来の改質Ⅱ型に対して耐水性能を改善できます(写真-1参照)。
5. バインダおよび混合物の性状は、従来の改質Ⅱ型と同等です。
6. 施工は通常の機械編成で行えます。

適用

1. 夜間、冬場、その他施工性改善の必要な場合。
2. 橋梁部、薄層舗装等の混合物温度低下が懸念される場合。
3. 従来の改質Ⅱ型よりも耐水性能を付与させたい場合。
4. 環境負荷軽減対策が要求される舗装工事の場合。
5. 交通開放時間の短縮が必要な現場の舗装工事の場合。

適用上の留意点

1. 配合設計は従来の改質Ⅱ型に準じます。
2. 再生混合物や特殊な混合物の場合、事前に締固め性能を確認してください。
3. 施工温度の目安を以下に示します。
混合温度：165～180℃
敷均し温度：130℃以上
初転圧温度：120℃以上
仕上げ転圧温度：90℃以上
交通開放温度：50℃以下
(低炭素舗装の場合、混合温度は140～150℃)

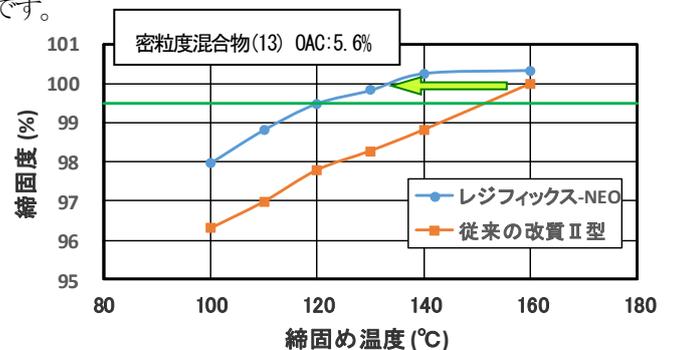


図-1 マーシャル締固め温度と締固め率の関係(例)

締固め率：従来の改質Ⅱ型(レジフィックス)の所定の
締固め温度(160℃)時の密度に対する割合

レジフィックス-NEO
剥離率：8%従来の改質Ⅱ型
剥離率：28%

写真-1 ボイル試験 (ASTM D3625 参照)

3時間後骨材表面状況(例)